

令和7年度 研究構想図

呉市立仁方中学校区

学校教育目標

自ら学び 心豊かな児童生徒の育成

中学校区で育成したい資質・能力

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等	
知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性	規範意識・公德心

【めざす児童像】

にこにこ笑顔で 元気にあいさつ・返事をする
進んで、学習と生活をつなぎ、最後までやりぬく
高学年を中心に、たすけ合って、主体的に活動する

【めざす生徒像】

「守・破・離」の精神を貫く生徒
～型を基盤に、自分の個性を発揮し、
生き方を自己選択・自己決定し、自律する～

【研究主題】

主体的に学び、思考力・判断力・表現力を身に付けた児童**生徒**の育成
～生活をよりよくするために、自分の考えを深め、表現する授業づくり～

【研究仮説】

生活場面と結び付けた単元開発や教材開発及び発問や表現、振り返りの工夫をした授業づくりを行えば、主体的に学習に取り組む姿が見られるようになり、思考力・判断力・表現力が高まるだろう。

【研究内容】

(1) 学びの主体性の喚起

- ①生活場面や他教科等との関連を図った単元開発（仁方中学校区学習過程）
- ②児童生徒にとって身近な事象や生活場面からの教材開発

(2) 思考力・判断力・表現力を高めるための授業展開

- ①思考を促す発問の工夫
- ②多様な表現方法の工夫
- ③学びをつなぐ振り返りの工夫

【児童生徒の実態】

- ・経験や既存の知識を関連付けて解決方法を見出したり、新たな課題を生み出したりする力が付いてきた児童生徒がいる一方、学校での学習と生活との関連に気付くことが難しい児童生徒もいる。
- ・考える手法が身に付いていないために思考を深めることが難しい児童生徒がいる。

学びの基盤

スキルタイム、スマイルタイム、仁方タイム、ぐんぐん
ノート等学びに向かう意欲「知りたい・学びたい・
できるようになりたい」

「N中メソッド」による学びの風土づくり
・週末課題・読書活動・補充学習を通して学
びの土台づくり
・キュビナ等を効果的に活用した個別最適な
学び